

大規模実証実験	(1) 大規模実証実験に向け、実証リーダーが作成したスケジュール案をもとに官民による大規模実証実験TFにて検討を進めていくことを確認した。 (2) 「ダイナミックマップ」「歩行者事故低減」の実証リーダーより、スケジュール案を説明し議論を行った。 《主な意見》 ・ベンチャー企業などの参画についても考慮すべき。 ・オリンピックの位置づけを決める必要がある。オリンピックに引きづられ過ぎるのもよくない。 ・対象の行動変化をどう捉えるか？は難しいが検証が必要。
平成27年度施策	H27年度施策である下記8件について受託先より研究内容に対する説明があり、進め方について審議を行った。 【新規テーマ2件】 「自動走行システムの安全性・信頼性の確保のための技術検討」(国2) ⇒OUTPUT目標に適した調査方法について検討中 「地域交通CO2排出量の可視化」(経6) ⇒CO2削減ではなく‘可視化’というテーマにフォーカスして進める 【継続テーマ6件】 「国際的に開かれた研究開発環境の整備」(警6) 「交通規制情報の活用による運転支援の高度化」(警2) 「交通事故死者低減見積もり解析手法に係る調査」(内2) 「車車間通信・路車間通信技術の開発」(総1*) 「歩車間通信技術の開発」(総1*) 「インフラリーダーシステム技術の開発」(総1*) 総1テーマについては、これまでの議論を踏まえ軌道修正が行われていることが確認できた。詳細内容については‘総1連絡会’を通して継続的に議論していく。 本日は (総1*) について 総務省より報告
その他	《総1連絡会》 今後、車車間通信、歩車間通信におけるダイナミックマップとの利用拡大について検討を進めていくことになった。